

福島第一原子力発電所の状況

平成 25 年 11 月 6 日
東京電力株式会社

< 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (11/6 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力 ^{*1}	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約 1.9 m ³ /h	27.3	107.0 kPa abs	A系： 0.03 vol%
		給水系：約 2.5 m ³ /h			B系： 0.04 vol%
2号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約 3.4 m ³ /h	36.6	11.37 kPa g	A系： 0.04 vol%
		給水系：約 1.9 m ³ /h			B系： 0.04 vol%
3号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約 3.4 m ³ /h	35.8	0.22 kPa g	A系： 0.10 vol%
		給水系：約 2.0 m ³ /h			B系： 0.08 vol%

*1:絶対圧(kPa abs) = ゲージ圧(kPa g) + 大気圧(標準大気圧 101.3 kPa)

・H25/10/16 10:09 頃 ~ 2号機サプレッションチェンバ内部の気体が原子炉格納容器ドライウェル側へ移動していること
の有無を確認するための窒素ガスの封入を実施中。

[3号機原子炉建屋5階中央部近傍(機器貯蔵プール側)での湯気発生状況]

・H25/11/6 7:51 頃 湯気をカメラにて確認。(気象データ[11/6 7:50 時点]:気温 12.9 、湿度 86.8%)
プラント状況、モニタリングポスト指示値等に異常なし。・H25/11/6 16:00 頃 湯気をカメラにて確認できないことを確認。(気象データ[11/6 16:00 時点]:気温 17.6 、湿度
47.3%) プラント状況、モニタリングポスト指示値等に異常なし。

< 2. 使用済燃料プールの状況 > (11/6 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	20.0
2号機	循環冷却システム	運転中	18.3
3号機	循環冷却システム	運転中	17.6
4号機	循環冷却システム	運転中	25

各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウェルへヒドラジンの注入を適宜実施。

< 3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況 >

号機	排出元 →	移送先	移送状況
2号機	2号機 タービン建屋 →	集中廃棄物処理施設(プロセス主建屋)	11/5 11:05 ~ 移送実施中
3号機	3号機 タービン建屋 →	集中廃棄物処理施設(雑固体廃棄物 減容処理建屋[高温焼却炉建屋])	11/6 9:27 ~ * 移送実施中
6号機	6号機 タービン建屋 →	仮設タンク	11/6 10:00 ~ 15:00 移送実施

*10/22 14:53 ~ と記載しておりましたが、正しくは11/6 9:27 ~ となります。(H25/11/8訂正)

< 4 . 水処理設備および貯蔵設備の状況 > (11/6 11:00 時点)

設備	セシウム吸着装置	第二セシウム吸着装置(サリー)	除染装置	淡水化装置(逆浸透膜)	淡水化装置(蒸発濃縮)	多核種除去設備(ALPS)
運転状況	停止中	運転中*	停止中	水バランスをみて断続運転	水バランスをみて断続運転	停止中

*フィルタの洗浄、ベッセル交換を適宜実施。

- ・H23/6/8 ~ 汚染水・処理水を貯蔵・保管するための大型タンクを順次輸送、据付。
- ・H25/8/8 12:55 ~ 6/15 に多核種除去設備(ALPS) A系で発生したバッチ処理タンクからの水漏れについて、現在A系で実施している腐食防止対策をB系でも実施するため、同B系を停止。
9/27 C系について、再発防止対策を実施した上でホット試験を開始。
- 10/28 10:08 ~ A系におけるバッチ処理タンクのすき間腐食による貫通欠陥の再発防止対策、水平展開、および腐食発生・促進リスクの低減処置が完了したことから、ホット試験を再開。同B系は11月以降を目処にホット試験を再開予定。
- 11/3 5:08 ~ C系について、腐食対策有効性確認のため停止。
- 11/6 8:40 ~ A系について、10/4 にC系で「工程異常」の警報発生による停止の再発防止対策の水平展開として、制御系の改造を行うため停止。なお、停止期間は3日程度を予定。
- 11/6 10:12 ~ 水バランスを考慮し、セシウム吸着装置を停止。

< 5 . その他 >

- ・H25/10/21 13:50 ~ 6号機において、燃料集合体を原子炉内から使用済燃料プールへ移動させる作業を実施中。
- ・H25/10/23 11:10 ~ 4号機使用済燃料プールに保管された燃料の取り出しに向け、燃料取り出し用カバー内空気を換気するための換気設備(給気フィルタ、送風機、排気フィルタ、排風機等で構成)の試運転を開始。当該換気設備については、本格運用前の10/23 から10/30 まで試運転を行い、10/31 に検査を受検。
- ・H25/10/30 ~ 2,3号機海水配管トレンチ閉塞(凍結止水)に向けた現場での準備工事を開始。
- ・H25/10/29 ~ 2,3号機海水配管トレンチ内の滞留水の放射能濃度を低減するモバイル式処理設備については、処理装置の設置が完了したことから、11/3 から実施している吸着塔の通水確認を含めた使用前検査を受検中。
*開始日の表記について、吸着塔の通水確認開始日(予定)である「H25/11/2」としておりましたが、使用前検査開始日である「H25/10/29」へ訂正させていただきます。なお、通水確認については、11/3 から開始しております。
- ・H25/11/4 22:35 頃 3号機高線量ガレキ運搬トラックから、軽油が漏えい。吸着マットにて処理を実施。当該トラックの運行ルート(3号機から固体廃棄物貯蔵庫8棟)には中和剤の散布を実施。当該トラックの調査を行ったところ、給油口部に油滴下跡があり、その他の場所から油の滴下は確認出来なかったことから、給油キャップの締付けが不十分であったため給油口部から軽油が漏えいしたものと推定。漏えいした軽油の量は約20リットルと評価している。今後の対策としては、当該トラック給油キャップを新品に交換するとともに、給油時及び運行前にキャップロックの確認を複数人で実施することとする。
*発見時刻を「11月4日午後10時45分頃」から「11月4日午後10時35分頃」に、トラックの運行ルートを「3号機から固体廃棄物貯蔵庫1棟まで」から「3号機から固体廃棄物貯蔵庫8棟まで」へ訂正させていただきます。
- ・H25/11/6 1号機原子炉格納容器ガス管理システムのチャコールフィルタ・粒子状フィルタのサンプリングを実施。
- ・H25/11/6 1号機原子炉建屋上部において、ダストサンプリングを実施。

[H4エリアタンク・B南エリアからの水の漏えい関連]

< 最新のパトロール実績(11/5) >

- ・高線量当量率箇所($\beta + \gamma$ 線(70 μ m線量当量率))は確認されず。
- ・堰床部に雨水が溜まった箇所については、雨水による遮へい降下により線量当量率は低い状態となっている。
- ・目視点検によりタンク全数に漏えい等がないこと(漏えい確認が出来ていない堰内溜まり水内を除く)を確認。
- ・サーモグラフィーによる水位確認については、11/4の雨の影響により撮影できなかったことから実施していない。

< H4エリア周辺のサンプリング実績 >

- ・11/4 採取分のH4エリア周辺の地下観測孔の分析結果(E-1 ~ E-5)について、前回と比較して有意な変動な

し。
<福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績>
・11/5 採取分については、前回採取した測定結果と比較して有意な変動なし。

【タービン建屋東側の地下水調査 / 対策工事の実施状況】

<トピックス>

- ・1・2号機取水口間のウェルポイントおよび集水ピット(南)地下水から立坑Cおよび2号機タービン建屋への移送量は
11/6 0:00 時点で約 5,333m³ * 集水ピット(南)およびウェルポイントの総量
- <地下水観測孔サンプリング実績>
・前回採取した測定結果と比較して有意な変動なし。

【地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績】

<トピックス>

- ・H25/7/1～ 拡散防止対策およびサンプリングは継続実施中。(有意な変動なし)
- ・H25/10/3～ 地下貯水槽 No.1 の汚染範囲調査開始。
- ・H25/10/23～ 地下貯水槽 No.6 において浮き上がり対策を実施中。

以 上